

保谷第二小学校の教育

小学校の学習は、将来社会人として自立するための基礎になるものです。特に、「受容し、かかわる心」「思考し、判断する知」「挑戦し、やり抜く体」は、欠かすことのできない、生き抜くための力です。保谷第二小学校では、持続可能な社会と平和な国際社会の創造に貢献できる子供の育成を目指し、「かかわる子」「判断する子」「やりぬく子」という教育目標を定めています。

教育目標の達成に努めます

かかわる子

- ・元気で明るい挨拶ができる子
- ・周りの人の気持ちが分かる子
- ・助け合い、協力できる子
- ・異年齢で遊ぶことができる子
- ・自分の役割が分かる子
- ・豊かな言葉遣いができる子

判断する子

- ・課題に正対できる子
- ・学びを問題解決に活用できる子
- ・多面的・多角的に物事をとらえる子
- ・学ぶ喜びを感じる子
- ・善悪を見分け、選択できる子

やりぬく子

- ・目標を持ちあきらめずに取り組む子
- ・授業に集中できる子
- ・運動に親しむ子
- ・家庭学習習慣が身に付いている子
- ・清掃に汗を流す子

学校・家庭・地域が協同・協働し、子供たちの家庭学習の習慣化を図ることで基礎的・基本的な資質・能力が定着し高められるものです。本校での学びを学校・家庭・地域で共有するために、「ホニ学のスズメ」を発行しています。本校の学びの基軸とし、毎日の授業や家庭生活の中でご利用いただき、子供たちに温かいご支援をお願いします。

「ホニ学のスズメ」のよみ方

1 家庭学習の進め方

音読や漢字学習のポイントなどを示してあります。「家でどんな学習をさせればよいのか分からない」「学校ではどうしているのかしら。」といったご家庭からの声にお応えして、学習の意義や家庭学習のやり方を説明してあります。〈音読〉〈漢字練習〉〈計算練習〉〈日記〉〈読書〉について具体的に書かれています。

2 学習への向かい方

学習の準備から授業に向かう姿勢や約束ごとについて、本校で育てたいと考えている姿を示しています。また、各学年の学習に必要な用具についても、細かく書かれていますので、ご確認ください。

3 学習の内容

学校で学ぶ教科等の特性や大切さ、学習の方法、ノートの取り方など、写真を示して説明しています。発達段階に合わせ全校共通のやり方で系統的な学習を行うことで、6年間を通して子供たちは、安心して学習を積み上げていくことができます。

この「ホニ学のスズメ」を活用して、学習の取り組み方や家庭学習の方法を子供に教えてあげてください。家族で話し合い、家族のふれあいの機会が増えることにより、子供の精神安定にもつながり、心身ともに健やかに育っていくことでしょう。この「ホニ学のスズメ」を手掛かりとし、学校・家庭・地域が協同・協働することで、心身ともに健全な子供たちを育てていきましょう。

1 家庭学習の進め方

(1) やる気を高めよう

まず、「できること」「得意なこと」から始めましょう。

自分ができることや得意なことから自主的に学習を始めると、学習を進めていく間に色々な力が付いてきます。

主体的に学ぶことで学習を深く捉えることができます。

新しいことができるようになり、自信を持つことができます。

分かること、できることが増えてくると次への学習意欲が、さらに高まり、友達と一緒に学び合い、かかわり合いながら学習を深めることができます。

学習を通して、知識や技能だけでなく、人として大切な生き抜く心と力を培ってください。そのためにも、必ず続けられることを自分で決めて毎日実行するとよいでしょう。続けていくうちに、分かった時の楽しさや喜びが味わえ、喜びはやる気へとつながっていきます。やる気が高まれば、より深い内容を学習することができるでしょう。

(2) 家庭学習の習慣を身に付けよう

家庭学習の習慣を身に付けるために、毎日宿題を出します。宿題の内容は、音読練習（読むこと）、漢字練習（書くこと）、計算練習（計算すること）を三つの柱とし、日記（文章表現）にも取り組みます。

毎日の宿題に取り組むことで、学習する習慣を身に付けるとともに、読むこと、書くこと、計算することの基礎学力をしっかりと身に付けることをねらいとしています。特に、6年生は中学校に向けての準備となります。

～家庭学習の進め方～

学校から帰ったらすぐに取り組む、夕食を食べる前に取り組むなど、毎日決まった時に取り組むようにすると良い習慣が身に付きます。

取り組む時間は、学年や学習内容によって異なる場合もありますが、10分間×学年が標準的な時間といえます。（例：6年生は、10分間×6学年＝60分間）

取り組んだあとには、すぐに答え合わせをして、丸付けをします。すぐに間違えたところに気付き、やり直しをすることで、学習内容が正しく定着し、理解を深めることができます。

※ [保護者の方へ]

中学年・高学年は、答えを見ながら自分で丸付けをします。

低学年は、できる限り保護者の方が丸付けをして、励ましてあげてください。

<音読>

文章を声に出して読むことは大切な学習です。多くの文章に触れることで、自然に文字や言葉を覚えることができます。文章を目で追いながら、自分の出した声を自分の耳で聞くことで、読み流しや読み飛ばしがなくなり、文章をしっかりと読み上げることができ、文章読解力が高まるのです。

音読のめあて

低学年	大きな声で読む。しっかり口をあけて、はっきりと読む。すらすら読む。気持ちを込めて読む。「、」や「。」に気を付けて読む。ゆっくり読む。
中学年	言葉のまとまりで読む。言葉や文の意味を考えながら読む。漢字を正しく読む。気持ちや場面の情景を考えて読む。暗記する。
高学年	分かりやすい速さや間の取り方を考えて読む。気持ちや場面の情景を考えて抑揚をつけて読む。

[保護者の方へ] 音読をする時は、保護者の方が音読を聞き、音読カードにサインをお願いします。

<漢字練習>

丁寧な字で書き順に気を付けて書きましょう。鉛筆でとめ・はね・はらい・おれに気を付けて力強く大きな字で書きます。

音読み、訓読み、画数、部首などもノートに書きます。熟語や短文作りも工夫して行いましょう。

日付、曜日、漢字ドリルの番号などを書きます。

熟語とその意味を辞書で調べて書きます。

漢字ドリルの問題番号を書きます。縦書きで短文を練習します。

マスがあまらないうちに無駄なく練習していきます。

[保護者の方へ] ・間違いがないか見てあげてください。

・きれいに書けたことをたくさん認め、次へのやる気につなげてください。

<計算練習>

何度も繰り返し、基礎基本の定着を図っていきます。
間違えたときには、なぜ間違えたのかを確かめて、赤で直します。

日付、曜日、
計算ドリル
の番号など
を書きます。

たし算、ひき算、
かけ算、わり算の
筆算は、必ず定規
を使って線を引
きます。

5-29 火

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	+	-	=
ドリル①												
①	58	②	37	③	94							
	-31		-17		-20							
	27		20		74							
④	65	⑤	80	⑥	56							
	-61		-30		-4							
	4		50		52							
⑦	87	⑧	29	⑨	93							
	-5		-6		-3							
	82		23		90							
⑩	47		310		610							
	-7		⑪	2	⑫	75						
	40		-18		-29							
			24		46							

①、②、③など、問題の
番号をしっかりと書き
ましょう。
筆算と筆算の間は、1
行以上マスをあけて書
きましょう。

[保護者の方へ]・間違いがないか見てあげてください。

- ・間違いがあった時は、もう一度やり直してできるようにしてあげてください。
- ・できたこと、最後までがんばったことをたくさん認め、次のやる気につなげてください。

<日記>

週に1度(原則として週末)、日記を書きます。放課後や週末のできごとや今、考えていること、感じていること、行事を終えてのふりかえり等、学年によって、テーマを決めて書きます。

書く習慣を付けることで、自分の考えや思いを分かり易く、相手に伝わるように書く力を育みます。

<読書>

[保護者の方へ]

本校では、司書教諭と連携し、図書室にホニホニ推薦図書30冊を置いています。(複本も準備します)また、西東京市立図書館より、推薦図書を学級文庫として1年間借りて、読書活動を奨励しています。年間100冊以上読んだら表彰状を渡します。

1年 ホニホニ推薦図書30冊

	書名	作者	出版社
1	あおくんときいろちゃん	レオ レオーニ	至光社
2	あおちゃんてね	星川ひろこ	小学館
3	なつのゆきだるま	ジーン・ジオン	岩波書店
4	えんぴつびな	長崎源之助作 長谷川知子絵	金の星社
5	王様と九人のきょうだいー中国の民話	君島久子訳 赤羽末吉絵	岩波書店
6	おやすみなさいフランス	ラッセル・ホーバン文 ガース ウィリアムズ絵	福音館書店
7	かえるのエルタ	中川李枝子	福音館書店
8	きつねのおきゃくさま	あまんきみこ作 二俣英五郎絵	サンリード
9	くまの子ウーフ	神沢利子	ポプラ社
10	くんちゃんのはじめてのがっこう	ドロシー マリノ	岩波書店
11	あれあれ？そっくり	今森光彦	ブロンズ新社
12	こぎつねコンチ	中川李枝子	のら書店
13	三びきのやぎのがらがらどん 北欧民話	マーシャ・ブラウン絵 せたえいじ訳	福音館書店
14	ジェインのもうふ アメリカどうわ	アーサ＝ミラー	偕成社
15	すずめのおくりもの	安房直子	講談社
16	しずかに！ここはどうぶつのとしょかんです	ドン・フリーマン	BL 出版
17	ちからたろう	いまえよしとも文 たしませいぞう絵	ポプラ社
18	チムとゆうかなせんちょうさん	エドワード＝アーディゾーニ＝ニ文絵	福音館書店
19	ともだちやもんな、ぼくら	くすのきしげのり作 福田岩緒絵	えほんの社
20	ハキちゃんの「はっぴょうします」	薫くみこ	佼成出版
21	はじめてのキャンプ	林明子	福音館書店
22	はなのすきなうし	マンロー リーフおはなし ロバートローソン絵	岩波書店
23	ひつじぐものむこうに	あまんきみこ作 長谷川知子絵	文研出版
24	ペレのあたらしいふく	エルサ ベスコフ作・絵	福音館書店
25	まっくらネリノ	ヘルガー＝ガルラー	偕成社
26	まりーちゃんとひつじ	フランソワーズ	岩波書店
27	ライギョのきゅうしよく	阿部夏丸	講談社
28	ろくべえまってろよ	灰谷健次郎作 長新太絵	文研出版
29	ロボット・カミイ	吉田足日	福音館書店
30	わたしのおかあさんは世界一びじん	ベッキー ライア	大日本図書

2年 ホニホニ推薦図書30冊

	書名	作者	出版社
1	あのときすきになったよ	薫くみこ作 飯野和好絵	教育画劇
2	エルマーのぼうけん	ルース スタイルスガネット	福音館書店
3	おうさまでかけましよう	てらむらてらお作 わかやましずこ絵	フレーベル館
4	王さまライオンのケーキ	マシュー マケリゴット作・絵	徳間書店
5	おこだでませんように	くすのきしげのり作 石井聖岳絵	小学館
6	おいしいれのぼうけん	ふるたたるひ作 たばたせいいち絵	童心社
7	くまとやまねこ	湯本香樹実作 酒井駒子絵	河出書房新社
8	ごきげんなすてご	いとうひろし	徳間書店
9	さとうねずみのケーキ	ジーン・ジオン	アリス館
10	しっぽ!	竹下文子	学研教育出版
11	おすしのさかな		ひさかたチャイルド
12	ジローとぼく	大島妙子	偕成社
13	大砲のなかのアヒル	ジョイ コウレイ文 ロビン・ベルトン絵	平和のアトリエ
14	竹とぼくとおじいちゃん	星川ひろ子	ポプラ社
15	すみれちゃん	石井睦美	偕成社
16	おともださにナリマ小	たかどのほうこ	フレーベル館
17	でんでら竜がでてきたよ	おのりえん	理論社
18	どうぶつえんガイドよんでたのしい! いったのしい!	あべ弘士	福音館書店
19	トラのじゅうたんいなりたかったトラ	ジュラルド ローズ	岩波書店
20	どろんここぶた	アーノルド ローベル	文化出版局
21	なぜなぜのすきな女の子	松岡享子	学研
22	なんでもただ会社	ニコラ ド イルシング	日本標準
23	にじいろのさかな	マーカス・フィスター	講談社
24	歯いしゃのチュー先生	ウィリアム・スタイグ	評論社
25	花さき山	斎藤隆介	岩崎書店
26	ふしぎなたいこにほんむかしばなし	石井桃子文 清水崑絵	岩波書店
27	フレデリック ちょっとかわったのねずみのはなし	レオ＝レオニ	好学社
28	ベルナの目はななえさんの目	郡司ななえ	童心社
29	ロバのシルベスターとまほうのこいし	ウィリアム・スタイグ	評論社
30	わたしおてつだいねこ	竹下文子	金の星社

3年 ホニホニ推薦図書30冊

	書名	作者	出版社
1	あかてぬぐいのおくさんと七人のなかま	イ ヨンギョン	福音館書店
2	アンナの赤いオーバー	ハリエット ジーフェルト文 アニタ ロベル絵	評論社
3	いたずらおばあさん	高樓方子	フレーベル館
4	いのちのカプセルまゆ	新開孝	ポプラ社
5	大きい1年生と小さな2年生	古田足日	偕成社
6	大どろぼうホッツエンプロッツ	プロイスラー	偕成社
7	おかあさんの木	大川悦生	ポプラ社
8	がんばれヘンリーくん	ベバリイ＝クリアリー	学研
9	かめきちのおまかせ自由研究	村上しいこ	岩崎書店
10	キツネのまいもん屋	富安陽子	新日本出版
11	きつねの窓	安房直子	ポプラ社
12	きつね森の山男	馬場のぼる	こぐま社
13	キャラメルの木	上条さなえ文 小泉るみ子絵	講談社
14	黒グルミのからのなかに	ミュリエル マンゴー文 カルメン セゴヴィア絵	西村書店
15	クワガタクワジ物語	中島みち	偕成社
16	こいぬがうまれるよ	ジョアンナ コール	福音館書店
17	しょうたとなつとう	星川ひろ子	ポプラ社
18	水曜日の本屋さん	シルヴィ ネーマン文 オリヴィエ タレック絵	光村教育図書
19	すみれ島	今西裕行文 松永禎郎絵	偕成社
20	サッカーがだいすき	マリベス・ボルツ	岩崎書店
21	大砲のなかのアヒル	ジョイ コウレイ文 ロビンバルトン絵	平和のアトリエ
22	つるばら村のパン屋さん	茂市久美子	講談社
23	としよかんライオン	ミシェル ヌードセン作 ケビン・ホークス絵	岩崎書店
24	とらとほしがき 韓国の昔話	パク ジェヒョン	光村教育図書
25	はれときどきぶた	矢玉四郎	岩崎書店
26	半日村	斎藤隆介文 滝平二郎絵	岩波書店
27	1つぶのおこめーさんすうのむかしばなしー	デミ	光村教育図書
28	つくろいものやはじめます	水沢いおり	偕成社
29	メアリー・スミス	アンドレアユーレン	光村教育図書
30	ルドルフとイッパイアッテナ	斎藤洋	講談社

4年 ホニホニ推薦図書30冊

	書名	作者	出版社
1	いのちのカプセルまゆ	新開孝	ポプラ社
2	うぐいす	安房直子	小峰書店
3	うさぎ屋のひみつ	安房直子	岩崎書店
4	おじいちゃんがおばけになったわけ	キム フォップスオーカーソン文 エヴァ エリクソン絵	あすなる書房
5	オットー戦火をくぐったテディベアー	トミー ウンゲラー	評論社
6	かおるのたからもの	征矢清	あかね書房
7	かはたれ 散在ガ池の河童猫	朽木 祥	福音館書店
8	からだたんけん フリスル先生のマジック・スクールバス	ジョアンナ コール文 ブルース ディーギン絵	岩波書店
9	きつね、きつね、きつねがとおる	伊藤遊作 岡本順絵	ポプラ社
10	急行「北極号」	C. V. オールズバーク	あすなる書房
11	子犬のピピン	ローズマリ サトクリフ	岩波書店
12	子ぎつねヘレンがのこしたもの	竹田津	偕成社
13	ごんぎつね	新美南吉	講談社
14	しっぽをなくしたイルカ	岩貞るみ子	講談社
15	新幹線のたびーはやぶさ・のぞみ・さくらで日本縦断	ココヤスカン	講談社
16	すみれ島	今西裕行文 松永禎郎絵	偕成社
17	そんなわけで名探偵	杉山亮	偕成社
18	手ぶくろを買いに	新美南吉	フレーベル館
19	長くつ下のピッピ	アストリッド リンドグレーン	岩波書店
20	名前をつけるおばあさん	シンシア ライラントブラウン文 キャサリン ブラウン絵	新樹社
21	ひげねずみくんへ	アン ホワイトヘッド ナグダ	福音館書店
22	びりっかすの神さま	岡田淳	偕成社
23	ペニーの日記読んじゃだめ	ロビン クライン	偕成社
24	ホームランを打ったことのない君に	長谷川修平	理論社
25	まちゃんと	松谷みよ子作 司修絵	偕成社
26	みつばち	丘修三	くもん出版
27	犬をかうまえに	赤羽じゅんこ	文研出版
28	雪の写真家ベントレー	ジャクリーン Bマーティン作 メアリー アゼアリン絵	B L出版
29	ルドルフとイッパイアッテナ	斉藤洋	講談社
30	わたしのいもうと	松谷みよ子	偕成社

5年 ホニホニ推薦図書30冊

	書名	作者	出版社
1	あたまにつまった石ころが	キャロル・オーティス・ハースト文 J. スティーブソン絵	光村教育図書
2	ありがとう、フォルカーせんせい	パトリシアポラッコ	岩崎書店
3	アンネの木	イレーヌ コーエン ジャンカ	くもん出版
4	お米は生きている（自然と人間）	富山和子	講談社
5	賢者の贈り物	オーヘンリ	講談社
6	さすらい猫ノアの伝説	重松清	講談社
7	鹿よおれの兄弟よ	神沢利子作 G. D. パヴリーシン絵	福音館書店
8	しずくの首飾り	ジョーン・エイキン	岩波書店
9	杉原千畝物語—命のビザをありがとう—	杉原幸子	金の星社
10	世界の不思議な植物ワタシガイイチバン!	湯浅浩史	誠文堂新光社
11	大森林の少年	キャスリンラスキー作 ケビンホークス絵	あすなる書房
12	小さな町の風景	杉みきこ	偕成社
13	チビ竜と魔法の実（シノダ!）	富安陽子	偕成社
14	手塚治虫（子どもの伝記16）	国松俊英	ポプラ社
15	ぬくい山のきつね	最上一平	新日本出版
16	ハリスおばさんパリへ行く	ポール ギャリコ	ブッキング
17	樋口一葉—近代日本女性の職業作家—	真鍋和子	講談社
18	1つぶのおこめ—さんすうのむかしばなし—	デミ	光村教育図書
19	ヘレン＝ケラー自伝—三重苦の奇跡の人—	ヘレン＝ケラー	講談社
20	モモ	ミヒヤエル・エンデ	岩波書店
21	魔女の宅急便	角野栄子	福音館書店
22	マヤの一生	椋鳩十	大日本図書
23	椋鳩十のシカ物語（椋鳩十まるごと動物物語）	椋鳩十	理論社
24	エーミールと探偵たち	ケストナー	岩波書店
25	もしも日本人がみんな米つぶだったら	山口タオ文 津川シンスケ絵	講談社
26	ゆめみるトランク—北の町のかばん屋さんの話—	安房直子	講談社
27	ローザ	ニッキ ジョバンニ文 B. コリアー絵	光村教育図書
28	ヴァン・ゴッホ・カフェ	シンシアライアント	偕成社
29	ヘンリー・ブラウンの誕生日	エレン・レヴァン	鈴木出版
30	晴れた日は図書館へいこう	緑川聖司	小峰書店

6年 ホニホニ推薦図書30冊

	書名	作者	出版社
1	アラスカたんけんき	星野道夫	福音館書店
2	アンネ・フランカー絵本―	ジョゼフィーン プール文 アンジェラバレット絵	あすなる書房
3	いわたくんちのおばあちゃん	天野夏美作 はまのゆか絵	主婦の友社
4	絵で読む広島原爆	那須正幹	福音館書店
5	おとうさんのちず	ユル シュルヴィツシュ	あすなる書房
6	カメをつつて考えた	阿部夏丸	旺文社
7	彼の手は語りつぐ	パトリシアポラッコ	あすなる書房
8	クロードアの秘密	E. L. カニグズバーグ	岩波書店
9	ゴエさん―大泥棒の長い約束―	結城乃香	朝日学生新聞社
10	小学5年生	重松清	文芸春秋
11	少年たちの夏	横山充男	ポプラ社
12	スウィート・メモリーズ	ナタリーキンシーワーノット	金の星社
13	鬼の橋	伊藤 遊	福音館書店
14	注文の多い料理店	宮澤賢治	岩崎書店
15	ガリレオ・ガリレイ―星の使者―	ピーター・シス	徳間書店
16	とどまることなく―奴隷解放につくした黒人女性ソジャーナ・トゥルース―	アン ロックウエル	国土社
17	トモ、ぼくは元気です	香坂直	講談社
18	夏の庭 ―The friends―	湯本香樹	徳間書店
19	西の魔女が死んだ	梨木香歩	小学館
20	二年間の休暇	J. ベルヌ	岩波書店
21	走れセナ！	香坂直	講談社
22	バスラの図書館員―イラクで本当にあった話―	ジヤネットウインター	晶文社
23	ぼくがラーメンたべてるとき	長谷川義史	教育画劇
24	マサヒロ	田中文子	角放出版社
25	ミラクルファミリー	柏葉幸子	講談社
26	ムジナ探偵局	富安陽子	講談社
27	山のいのち	立松和平作 伊勢英子絵	ポプラ社
28	夕ごはんまでの五分間	プロハースコヴァ	偕成社
29	ローワンと魔法の地図	エミリー・ロツダ	あすなる書房
30	ぼくらのサイテーの夏	笹生陽子	講談社

☆読書は心の財産です。たくさん本を読みましょう！

2 学習への向かい方

みなさんにとって、学校生活の中で中心となるのは「授業」です。授業中は、次のことに注意して授業を受けましょう。

① 授業中の態度は

- 礼は、先言後礼です。
- 日直の合図で授業の始まりの挨拶をします。(前時の振り返り・今日のめあて)
- 先生の話や友達の発表を黙って考えながら最後まで聞きます。
- 正しい姿勢で学習をします。(グー・ペタ・ピン・サ)
- 授業に集中し、私語や勝手な行動に気を付けましょう。
- 終わりの挨拶もきちんとします。(今日の振り返り・次時の予告)

② 聞くときは

- 話をする人からだを向けて、目を見てうなずきながら聞きます。
- 笑顔で、終わりまでしっかり聞きます。
- 自分の考えと比べながら聞きます。

③ 読む・話すときは

- 指名されたら「はい」と返事をして立って話します。
- みんなに聞こえる声の大きさと話します。(声のものさし・3)
- はっきりとした丁寧な言葉づかいで話します。

④ ノートは

- 下敷を使いましょう。
- 「ホニ学のススメ」にある、ノートを書くときの約束を守り、学習のあとがわかるノートを作ります。
- 友達にも分かるように、丁寧に書きます。

⑤ 発言の仕方は

- 「はい ～です。」
- 「はい ～だと思えます。」 「はい ～だと考えます。」

◎ 友達の考えにつなげて話すとき

- 「〇〇さんと同じで～です。」
- 「〇〇さんと似ていて～です。」
- 「〇〇さんと少しちがって～です。」
- 「〇〇さんに付けくわえて～です。」
- 「〇〇さんに質問です。」

◎ 構成を考えて話すとき

- 「～だと思えます。わけは、～だからです。」
- 「～は、二つあります。一つは、～です。二つは、～です。」

◎ 表現を工夫して話すとき

- 「たとえば～」 「まとめると～」 「まず～、次に～、最後に～」

～授業に向けて準備しよう～

	観点の項目	低学年	中学年	高学年
授業前	授業前の準備	自分の席に座って、本を読んだり復習したり（教科書やノートを読む）して先生をまつ。		本を読んだり復習したり（教科書やノートを読む・ドリル学習）予習したり（国語辞典で意味を調べるなど）して先生をまつ。
		専科教室には、並んで静かに歩いて行く。		
授業中	①授業開始終了	チャイムの合図を守り、授業を開始する。 授業の開始・終了時には振り返りと丁寧なあいさつをする。		
	②いすの座り方	背筋を伸ばし、よい姿勢で、いすに座る。	姿勢に気を付け、音をたてないように立ったり座ったりする。	
	③ノートのとりかた	日付け・単元名を書く		
		授業時の指示通りに、鉛筆の持ち方に気を付け、丁寧に記入する。	記号、字の大きさ、書く位置を考えて記入する。自分の考え、友達の考えなど学習のあとがわかるノートづくりをめざす。	手際よく丁寧に、見出しを付けたり、板書以外の先生の話や自分の考えを書いたりし、工夫して記入する。
	④発表の仕方	ひじと指を伸ばして挙手をする。 名前を呼ばれたら「はい」と返事をして立ち、3の声で発表する。		
	⑤話の聞き方	話す人の顔にからだをむけて目を見ながら最後まで聞く。	同じ(賛成)・違う(反対)など、自分の意見と比べながら聞く。	相手の意見を尊重しながら自分の意見と比べながら聞く。
⑥話し方	声の大きさに気を付けて、はっきりと話す。	相手や目的に応じ、筋道を立てて話す。	目的や意図に応じ、話の組み立てを工夫しながら話す。	
		適切な言葉遣いで話す。分からないことを質問する。		
授業後	授業後の片付け	教科書・ノートを机の中に入れ、次の授業の準備をする。 みんなが使ったものは、自主的に片付ける。		
家庭で	学習用具の準備	A4の手紙が入るファスナーつきの連絡袋に連絡帳を入れる。		
		お手紙を渡し、連絡帳を見せ、時間割を見て準備し、おうちの人に点検してもらおう。	お手紙を渡し、連絡帳を見せ、時間割を見て準備する。	お手紙を渡し、時間割や学習の計画に合わせ準備する。
	持ち物すべてに記名をし、大切に扱う。			
	家庭学習 10分間×学年	楽しんで宿題に取り組む。	自分から進んで宿題や自主学習に取り組む。	

～学習用具～

項目 (場所)	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
ロッカー・フック	<p>○登校後すぐに教科書・ノートなどを右側の道具箱に入れる。 ○体育着、上履き入れは廊下のフックにかける。 ○上着はたたんで、ランドセルに入れる。入りきらない場合は、ロッカーの中。 ※ランドセルには防犯ブザー以外はつけない。</p>					
			<p>○辞書 ※辞書が入る位の（大きすぎない）手さげ袋に入れて机のフックにかける。</p>			
筆箱	<p>○原則、筆箱タイプ ※一度購入したものをなるべく長く使うようにする。 ※缶ペンケース型は使用しない。 ※道具箱に入らないような必要以上に大きい筆箱は、使用しない。</p>					
筆箱の中	<p>○鉛筆4～5本（Bか2B） ※シャープペンシルは、使用しない。 ※鉛筆は毎日家で削ってくる。</p>					
	<p>○消しゴム1個 ※かおりつき、色つきのは消えにくいので、使用しない。</p>					
	<p>○黒の油性ペン ・太字と細字があるもの。</p>					
	<p>○ミニ定規 ・15cm程度で、筆箱に入る透明なもの。 ※伸ばすと30cmになるタイプのは壊れやすいので使用しない。</p>					
	<p>○赤鉛筆・青鉛筆 各1本 ※カラーペンは原則使わないが、必要な場合は、担任の指示による。</p>					

項目 (場所)	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
専科袋			<p>○袋は巾着タイプで、キルティング布等厚地の布は不可。 ※サイズ 縦約30cm×横約20cm以内 (ひも部分除く) 以下の①～⑤が入るものであれば可。</p> <p>○専科袋に入れるもの ①小さいペンケース (2Bの鉛筆2本・消しゴム・黒の油性ペン) ②木工用ボンド ③はさみ ④液体のり ⑤色鉛筆12色セット</p> <p>※専科袋をお道具箱に入れて使用すれば、③液体のり、④はさみ、⑤色鉛筆を二重に用意する必要はない。(下記●印のもの) ※この専科袋は図工・音楽・理科・図書等で共有して使います。</p>			
左側の道具箱	●液体のり		<p>※色、におい、きらきら付きではないものにする。 ※担任の指示により、他のものを使用する場合がある。</p>			
	●はさみ		<p>※手の大きさに合っているものに適宜変えていく。</p>			
	●色鉛筆		<p>・基本は12色。</p>			
	○ステープラー					
	○セロハンテープ		<p>・道具箱に入る大きさで、テープカッター付きのケースに入れる。</p>			
	○自由帳		<p>※学習ノートや連絡帳を忘れた時に使用する。 ※休み時間などのお絵かきにも使用する。</p>			
	○クレパス 12～16色		<p>※担任の指示により持参する場合もある。</p>			
○折り紙		<p>※20枚ほどをジッパー付きの袋に入れる。</p>				
ノート	<p>○指定されたノートを使用する。 ○残りのページが少なくなったら新しいノートを早めに準備する。 ○使い終えたノートは、授業中に内容を見直すことがあるので、しばらくは持っておく。</p>					

項目 (場所)	教 科	1 年 生	2 年 生	3 年 生	4 年 生	5 年 生	6 年 生	
各 教 科 の 用 具	図 書	○図書バッグ ・手さげタイプ。 ・キルティング布など厚地の布は不可。 ・2～3冊入れられる大きさのもの。 ・雨の日用のビニール袋。						
	図 工	○絵の具セット						
	家 庭 科	/					○裁縫セット	
							○調理実習セット ・エプロン ・三角巾 ・マスク ・ふきん2枚	
	算 数	担任からの指示により持ってくる。	○三角定規（2枚組） ・算数の教科書と同じタイプのもの。			○コンパス ・鉛筆タイプのもの。 ※シャープペンタイプは不可。		
				○分度器 ・算数の教科書と同じタイプ。				
音 楽	○教科書 ○歌はともだち（歌集） ○鍵盤ハーモニカ			○音楽バッグ 手さげがついたもので、キルティング布等厚地の布は不可。 ※サイズ縦40cm程度（手さげ部分含む） ×横26cm 程度 ○音楽バッグに入れるもの ①教科書 ②歌はともだち（歌集） ③A4サイズファイル（楽譜プリントを入れる） ④リコーダー ⑤学年により副教材（例：リコーダー用楽譜等） ⑥専科袋 ※鍵盤ハーモニカについて 3年以上は、合奏で使う等、必要に応じて持ってくる。				